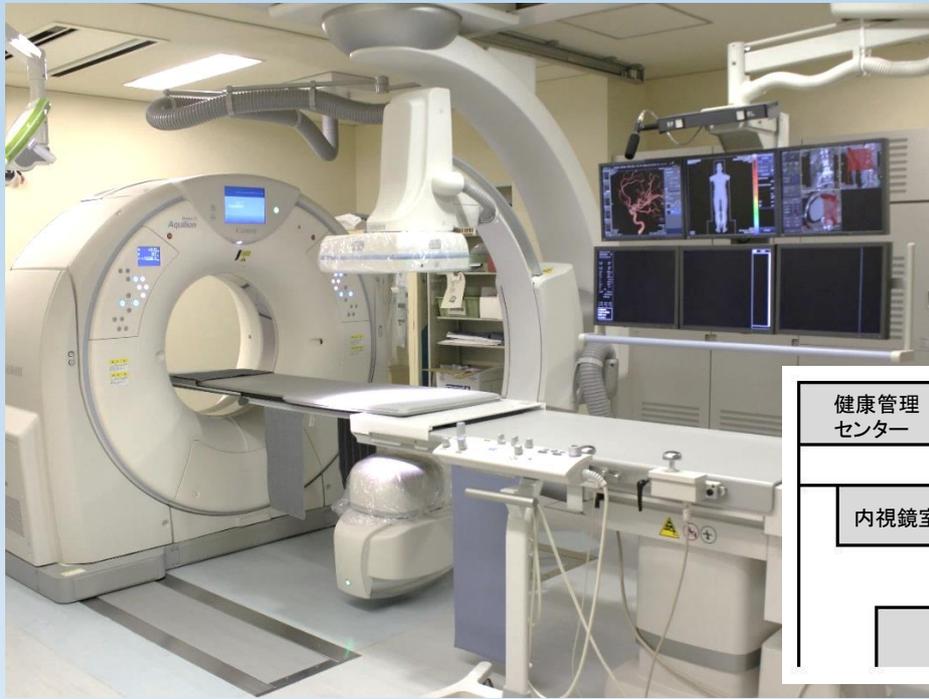


最新型のIVR-CT装置を導入

キャノンメディカルシステムズ株式会社
Aquilion Prime SP&INFX-8000C/H9

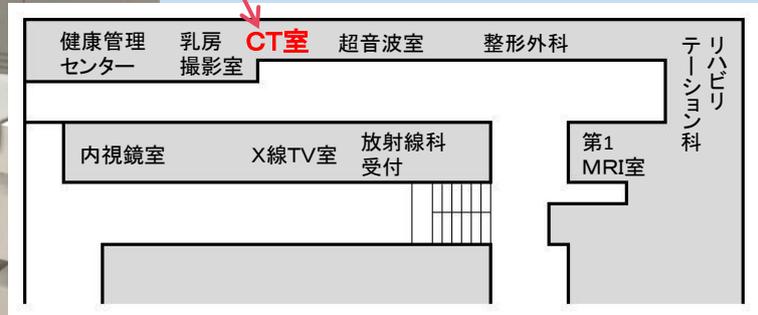


IVR-CTとは

X線を用いて体内を透視・撮影できる血管造影装置と、断層撮影が可能なCT装置の二つの機能を持つ装置です。

設置場所

診療棟1F



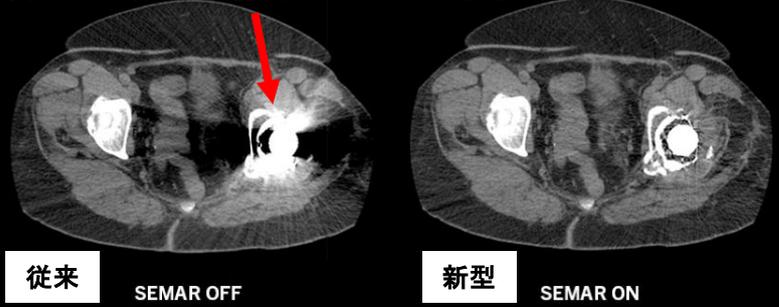
至 正面玄関



拡大



例: 金属製の人工股関節が入っている方の画像です



CTの特徴で、手術等により体内に金属が入っている場所を撮影すると、画像が乱れて見えなくなってしまうのですが、新しい画像処理により改善されています。

※上記画像は、キャノンメディカルシステムズ株式会社ホームページ

https://jp.medical.canon/products/computed-tomography/aquilion_lightning_featureより抜粋しました。

診療棟1階に設置されているIVR-CT装置を、最新の80列マルチスライス型へ令和2年3月に更新しました。これに伴い、第2病棟のCTでしか出来なかった精密な検査が診療棟でも可能となりました。従来の4列マルチスライス型と比較すると、撮影時間が短く高画質で被ばくも少なくなり、装置側にて名前の確認や息止めの合図等も液晶モニターに表示されるようになり、受診者に優しい工夫もされています。

寝台が低くならないため、患者様の容態によってはご利用出来ない場合や、検査内容や予約状況によってお断りする場合がありますが、皆様の体調管理にお役立ていただきたいと思います。

診療放射線技師 加藤弘隆